

学校探検 → 同窓会館・葵修館編

校舎の奥に立つ「同窓会館」と「葵修(キシユウ)館」。新体育館のすぐそばにありながら、何のための建物か知らない人も多いのでは？
ちよっと気になるこの二つの建物、実はとても身近な施設だったのです。

同窓会館

「同窓会館」は、たくさんの同窓生・PTAの尽力によって平成6年(1994年)に竣工され、賀茂高校同窓会から賀茂高校へ寄贈された建物です。

かつて一階部分は食堂として利用されていましたが、現在は昼食時にパンの販売(PTA運営)のスペースとして使用されています。

二階には、同窓会の事務局室と会議室があります。冷暖房が完備されているので、工事などで教室が使えないときには、会議室で授業を行うこともあったそうです。

会議室には、本校の前身だった「賀茂高等学校」「西条高等学校」時代からの資料も大切に保管してあります。

同窓会館は在校生の皆さんも利用できますので、積極的に活用してもらいたいとのことでした。



同窓会館



同窓会事務局長
大石秀邦先生(昭和53年卒)

同窓会事務局の活動
現在事務局長を務めておられるのが、同窓生であり、二年前まで本校の校長だった大石秀邦先生(昭和53年卒)です。
今も本校で教鞭を取っておられる傍ら、28000有余名の同窓会員の親睦や本校支援活動のために、精力的に情報発信を行っておられます。



葵修館(セミナーハウス)

「葵修館」は、平成4年(1992年)に宿泊可能な研修施設として建設されました。賀茂高校の校章である「葵」から名前がついています。

二階建の建物のなかには、食堂・浴室・洗面所・トイレなどが完備されており、大勢の人が一度に利用できるように設計されています。畳敷きの部屋は、つなげて広く使うこともでき、様々な用途に応じて利用できるようになっていきます。建築当時には新入生の宿泊研修にも使われていたようです。

現在は、軽音楽部が練習の場として使用していますが、他の部活動の保護者会などにも活用されています。

本校同窓生の作品の数々

同窓会館や葵修館には、芸術分野で活躍する本校同窓生の作品が飾ってあります。

この二か所以外にも、同窓生の絵画や作品が展示してあるのをご存知ですか？校内を探してみるのも楽しいですね。



「念」
岡垣幸得氏作(昭和29年卒)



「浮いた風景」
岡崎紀氏作(昭和32年卒)



PTA通信「あおい」は、昭和44年に第1号が発行されました。当時は「賀茂高校PTA通信」という名前でしたが、昭和63年の第37号から「あおい」に変更され、平成30年の第129号ではカラーページも登場し、記事や写真が見やすくなっています。

「あおい」の変遷に、時代の流れを感じます。

